

本校の中学校入試では、独創力や発想力、社会的な問題に対して興味関心を持ち、自分の意見を論理的に「書ける」生徒を求めてきました。2020年度には大学入試改革を控えており、各教科で求められる力もより一層変わってくることが予想されます。こうした情勢を踏まえ、本校では2020年度入試より国語の出題傾向を一部変更致します。

< 従来の出題傾向 >

- 一 漢字 書き 15問
- 二 漢字 読み 10問
- 三 語句 5問
- 四 作文 時事問題 200字以上300字以内

< 2020年度入試からの出題傾向 >

- 一 説明文 読解（漢字語句問題を含む）
- 二 出題した説明文に関する意見文 200字以上300字程度
(※試験時間の変更はありません。)

情報化社会が到来し、常に情報と共に存していかなければならない今日、自らの力で情報を読み取り、取捨選択する能力が求められます。さらに社会で生きていると、ある問題に対して意見を求めるにあたり、データを比較してその違いを述べたり、建設的に批判したりする場面に直面します。ただ情報を「読む」、物事を「考える」だけでは不十分なのです。情報と主体的に関わり、読む・考えることだけにとどまらず、さらに深化させ「書くこと」「話すこと」を通して自ら発信していかなければなりません。

本校では自分の考えを論理的に「発信できる」生徒の育成を目標としていきます。そのために2020年度入試より、国語の入学試験では国語の基礎基本にあたる「書くこと」「読むこと」「考えること」の3つを柱として出題していきます。

- 一では、一般的な説明文を出題しますが、選択問題だけではなく記述式の問題も出題し、内容理解の確認を行います。
- 二では、一で出題した説明文の内容に関連した意見文を出題し、文章の構成力や論理性を判断します。